新人の「自己表現力」を強化する研修

- 今から準備したいフォロー研修② -

自分の考えや思いを正確に相手に伝えるためには自己表現力が必要です。
しかし、毎年、新入社員が現場に配属されると、現場の上司、先輩からこのような声が多く出ています。「何を考えているのかわからない」「わからないことが何なのかわからない」「聞いても大丈夫としか言わない」
また、その一方では「自分の意見を一方的に伝えてくる」という新人も多く、まさしく自己表現力が低下しているのです。

彼らは「デジタルネイティブ世代」と言われるように、物心ついた頃からインターネットが身近にありました。インターネットでの検索や、ＳＮＳでのコミュニケーションが中心であったため、上司世代と比較すると、人と向かい合って会話をする機会が減ってしまっているのでしょう。そのため、これが自己表現力を低下させている原因の一つとしても考えられます。

しかし、相手に対する思いや配慮が無いわけではありません。彼らは小さいころからYouTubeやTiktokといった動画で沢山の“人”や“人との関わり方”を観察してきています。そのため、「私もこの人みたいに誰にでも優しくできる人になりたい」「周りを笑わせる人になりたい」という想いや理想はあるのでしょう。
しかし、想いや理想はあっても、それをどのようにして相手に伝えれば良いかの“自己表現”の仕方がわからず、そのギャップに苦しんでいるのです。

例えば、この自己表現力がなければ、職場でも多くの障害が生じやすくなります

自己表現力欠如の障害例
自分の感情（嬉しい、楽しい）を表現できず、“ 冷徹な人” との誤解をされる。
職場の人と雑談をしても盛り上がらない。
他人に合わせてばかりで、自分の意見を伝えないことが習慣化されてしまう。
悩みがあってもうまく相談をすることができない。
自分をさらけ出すことができず、ストレスや不満が溜まっていく。
「自分は受け入れられていない」と思い、ある日突然退職をしてしまう。

弊社の研修では、自己表現の基本となる考え方を学ぶことができます。それだけでなく、自己診断や実技訓練を行い、翌日からすぐに実践できる自己表現法を体得することができます。

ご興味のある方は、下記リンク、またはＱＲコードよりお問い合わせください。

＞ お問い合わせはこちら